

令和 7(2025)年 7 月 28 日

CISPR 15 第 9.1 版の国内答申(案)の作成について(主任案)

CISPR/F 作業班主任 山下洋治

1. 背景

CISPR 15 は第 8.0 版(2013 年発行)が平成 27(2015)年に情報通信審議会から答申されて以降、第 8.1 版(2015 年)、第 9.0 版(2018 年)、第 9.1 版(2024 年)が発行され、対象周波数範囲の拡大(～6GHz)、ポート・インターフェースの定義見直し、伝導妨害波測定法の変更、各妨害波測定における機器配置条件の整備など、規格の利便性や機器の技術的変遷への対応をふまえて要求事項が大きく追加、修正されている。

現在も、第 9.2 版のメンテナンスに向けた活動を継続しているが、発行にはまだ 2,3 年を要するところである。現在の電波利用環境の高周波化の状況を鑑み、速やかに新規事項へ対応することが好ましいと判断し、CISPR/F 作業班にアドホックグループを設置し、CISPR 15 最新版の国内答申案作成作業を開始することとしたい。

2. CISPR 15 国内答申案作成のための作業班の設置

F 作業班内部に以下のアドホックグループを設置する。

- (1) 名称: CISPR 15 国内規格答申アドホックグループ
- (2) リーダ: 高岡 宏行 氏(日本照明工業会: パナソニック)
- (3) 構成員: F 作業班構成員の希望者及び試験機関、関連工業会等からの希望者とする。

具体的には以下の者である。(調整中)

3. アドホックグループの検討対象

CISPR 15 第 9.1 版を対象として、答申案を検討する。

4. アドホックグループの作業項目

CISPR 15 第 9.1 版の日本語訳、国際規格からのデビエーションの検討、答申案の作成

5. スケジュール(調整中)

- (1) アドホック構成員の確定、アドホックグループ立ち上げ 2025年10月
- (2) CISPR 15 第 9.1 版の日本語訳作成、答申案作成
- (3) デビエーションの提案～検討
- (4) 令和8年度(2026 年度)中 一部答申

以上